

施設工平面図

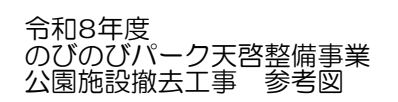
S=1:500

水景施設撤去 1式
盛土工 V=68.0m³
張芝工 A=180.0m²

凡 例	記号	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	備 考	計 画	現 状	差 異
	==	修繕施設工	バドミントンコート	A (1)	m	50.0				
	==			A (2)	m	13.2				
	==			小口止	ヶ所	4				
	==	→	バドミントンコート		m	20.0				
	==		水景施設		式	1				
	△	時計台			式	1				
	□	休憩施設工	シェルター	3連	ヶ所	1				
	□		パーゴラA	2連	ヶ所	1				
	□		B	3連	ヶ所	1				
	□		緑 台		ヶ所	3				
	□		テーブルセットA		ヶ所	2				
	□		B		ヶ所	3				
	□		ベンチA	A	ヶ所	4				
	□		B	B	ヶ所	6				
	□		B'	B'	ヶ所	2				
	□	遊具施設工	健康遊具		式	1				
	□		複合遊具		ヶ所	1				
	□		カリガ 遊具		ヶ所	6				
	□	遊具施設工	ゲートボール場		ヶ所	2				
	□	遊具施設工	健 所		ヶ所	1				
	□		浄化槽		ヶ所	1				
	□	管理施設工	案内板		m	140				
	□		水飲み		ヶ所	2				
	□		車止めA		ヶ所	16				
	□		B		ヶ所	10				
	□		倉庫		ヶ所	1				
	□		ゴミ集積所		ヶ所	1				
	○	照明工	ポールライト		ヶ所	(10)				
	□		フットライト		ヶ所	(2)				
	△	給・排水工	排水		ヶ所	(20)				
	==		雨水排水路		m	30.0				
	==		排水		m	1				
	==		排水		m	6.0				
	==		U型溝		m	63.6				
	==		舗装		ヶ所	20				
	==	休憩施設	パーゴラベンチ	φ4,000	ヶ所	2				
	==	遊具施設	ゲートボール場		ヶ所	175				
	==		フェンス	φ1,800	m	18				
	==		門 扉		ヶ所	1				
	==		ガードレール	φ100	m	35				

平 面 义

Diagram showing the cross-section of the embankment. The top width is 13.00m, the bottom width is 45.00m, and the slope ratio is 1:4.0.

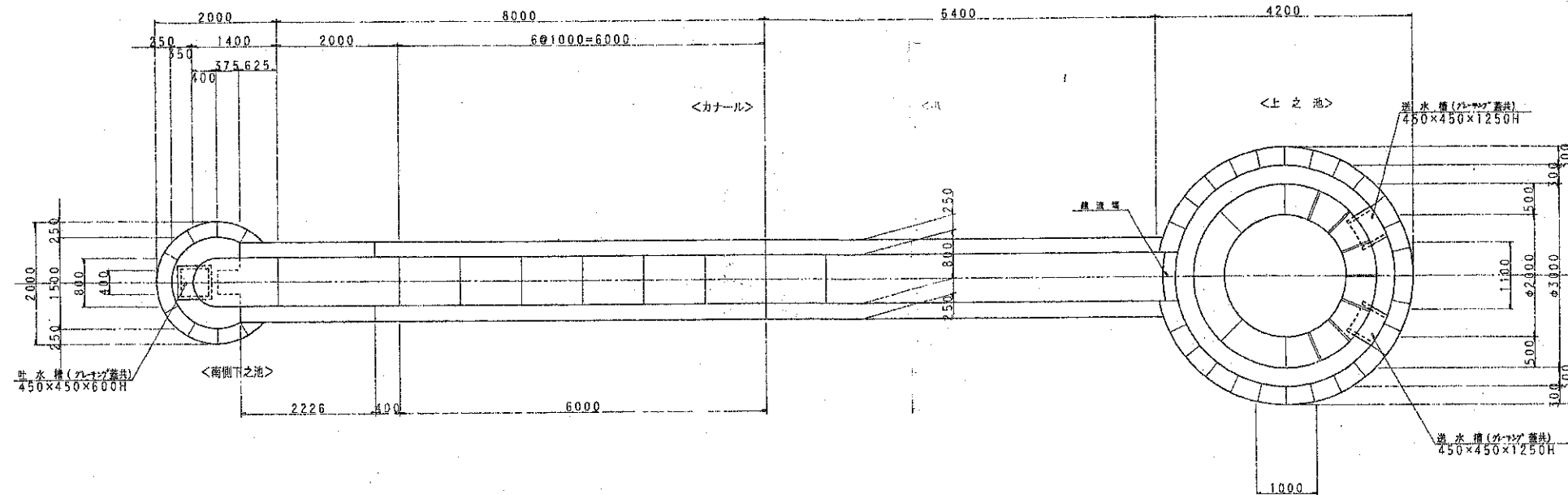


水景施設詳細図(2)

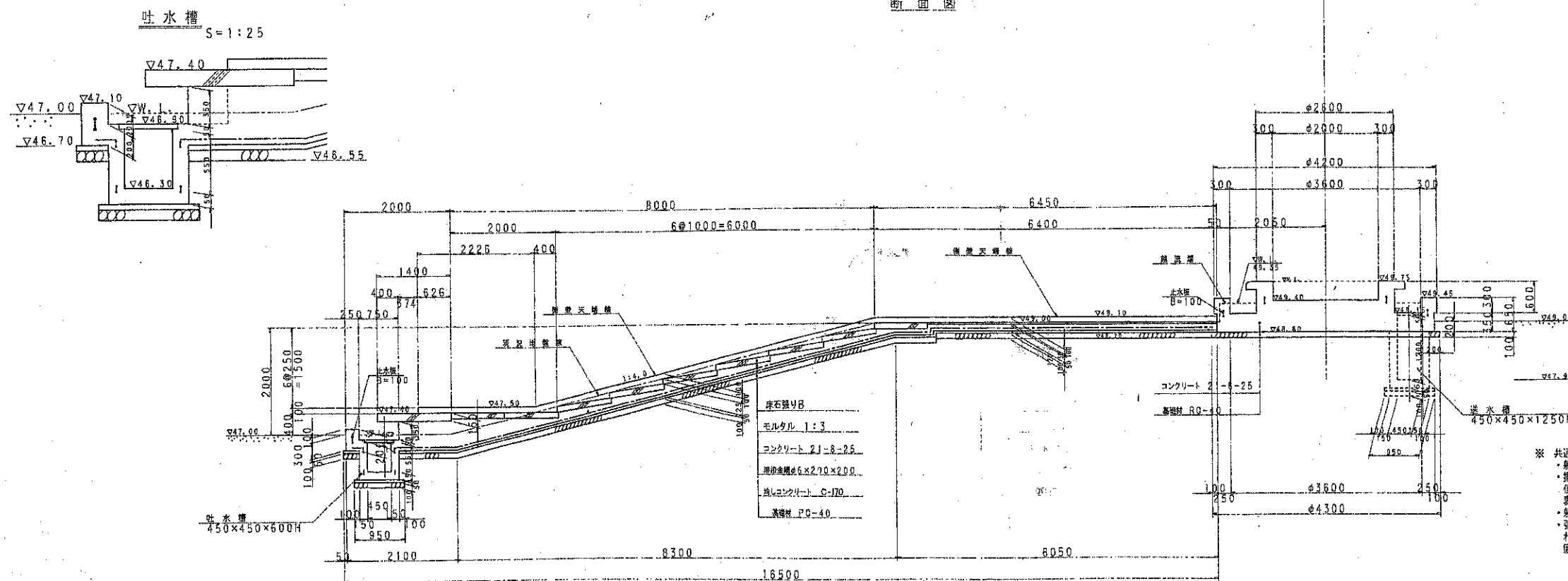
上之池～南側下之池

S=1:50

平面図



断面図

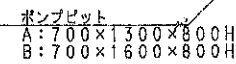


- ※ 共通事項
- ・躯体コンクリート(21-8-25)は、防水材(ペストン同等)混合を使用する。(20%混合/m³)
 - ・据え付けモルタルは、防水材(マノール同等)混合の練りモルタル1:3を使用する。(12%混合/m³)
 - ・但し施工上の問題でやむを得ず空練モルタルを使用する場合は防水材仕様を遵守の上、表面にはノロ打ちを必ず施す事とする。
 - ・躯体コンクリート打ち継ぎ部には止水板(R-100)を貼付する。
 - ・張り石の内、笠石及び側面石は、R=5、(合わせとし、これ以下の箇所については躯体面)で、背面加工を直線またはテーパーとし、

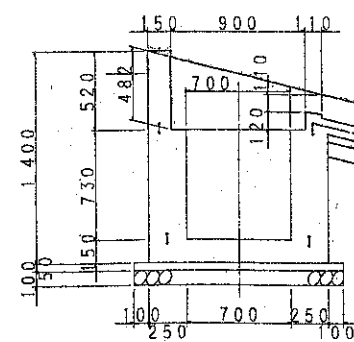
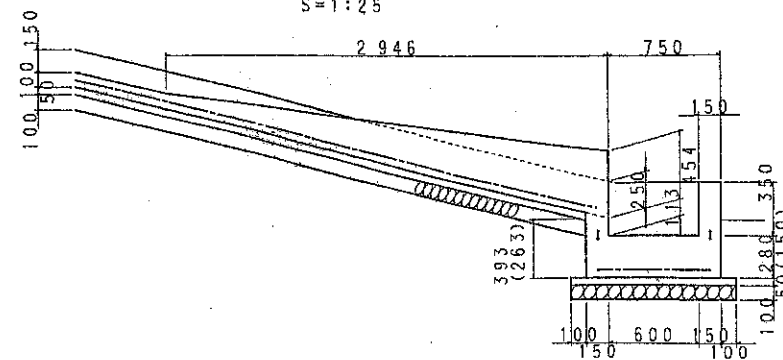
躯体構造図

北側下之池
S=1:50

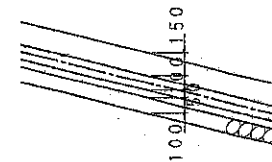
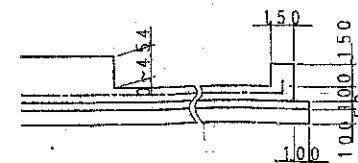
平面图



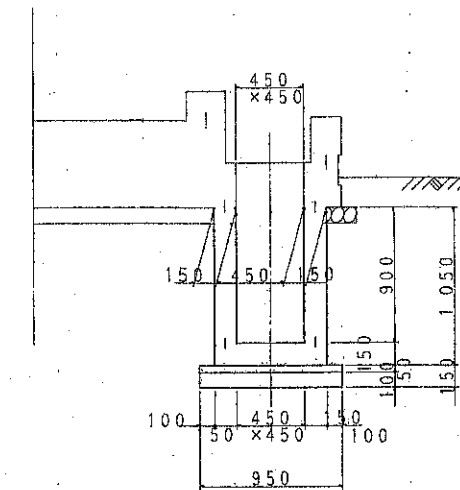
A - A S = 1 : 25


$$\frac{B}{S} - \frac{B}{S} = 1 : 25$$


C - C
S = 1 : 25


$$\frac{D}{S} = \frac{D}{1:25}$$


上之池送水槽
S = 1 : 25



水景施設躯体工数量集計表 (1式当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
コンクリート	21-8-25	m ³	41.6	
型枠		m ²	164	
鉄筋	D10	kg	295	
溶接金網	φ6×200×200	m ²	124	
均しシヤット	C-170	m ³	9.6	
同上型枠		m ²	8.3	
基礎材	RC-40	m ³	193	
止水板	B=100	m	221	
床板		m ³	109	
埋戻		m ³	23	
残土		m ³	86	
床ごしらえ		m ²	195	
植栽	コナリ 1株 200株以上	kg	831	

水景施設詳細図(5)

意匠図(1)

上之池

カナル

S=1:20

一般部・段滝部

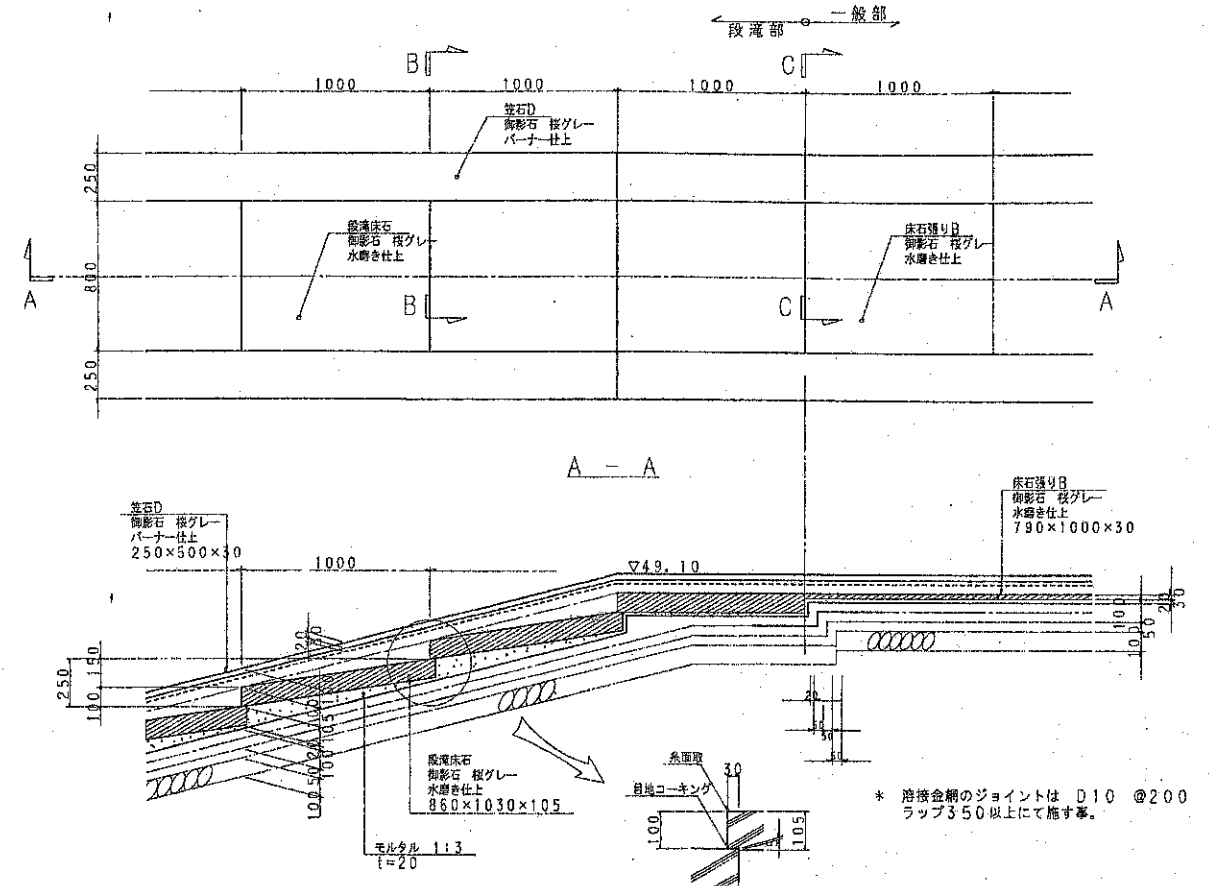
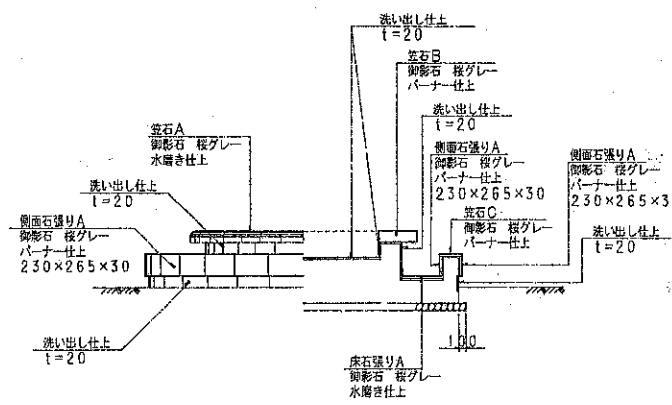
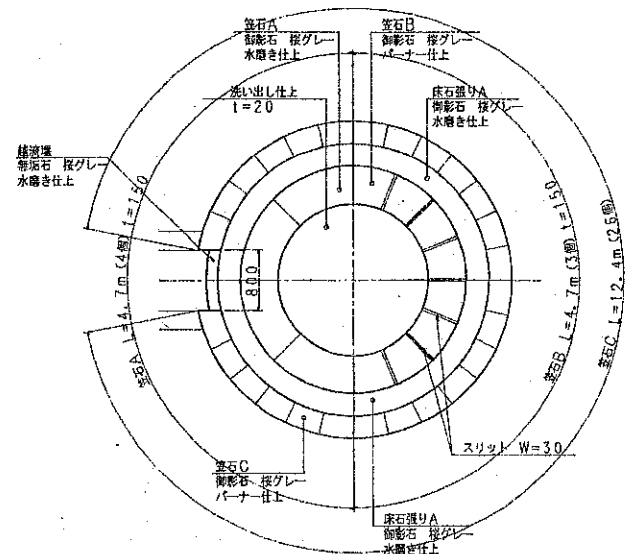
平面図

平面図

S=1:50

立面図

S=1:50



笠石 A
S=1:20

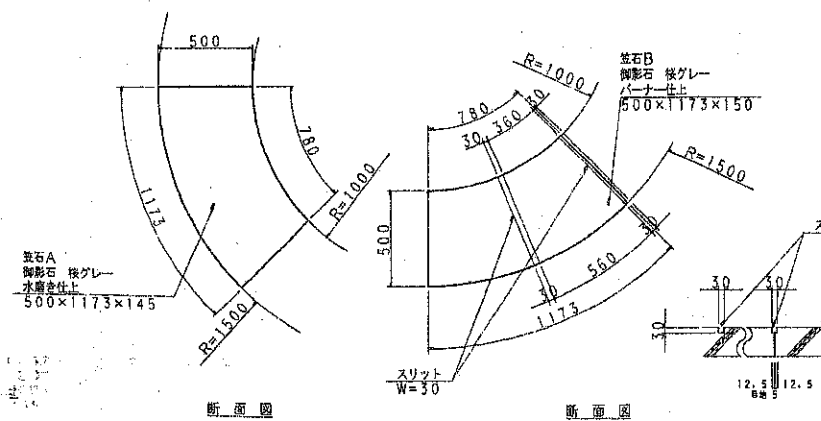
平面図

笠石 B
S=1:20

平面図

笠石 C・側面石張り A
S=1:20

平面図



笠石 C
S=1:20

断面図

床石張り A
S=1:20

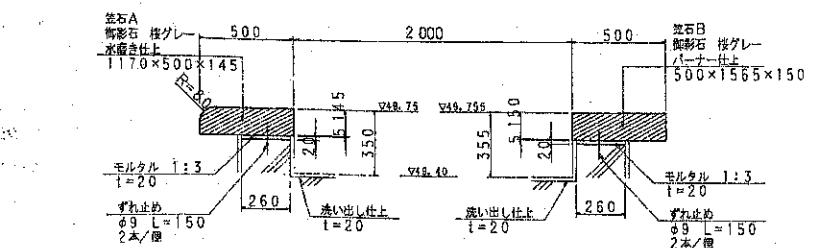
断面図

越流堰
S=1:20

断面図

笠石 D・側面石張り B, C・段滝床石
断面図

笠石 D・側面石張り B, C・床石張り B
断面図



笠石 C
S=1:20

断面図

床石張り A
S=1:20

断面図

越流堰
S=1:20

断面図

笠石 D・側面石張り B, C・段滝床石
断面図

笠石 D・側面石張り B, C・床石張り B
断面図

- ※ 共通事項
- ・躯体コンクリート(21-8-25)は、防水材(ベストン等)混合を使用する。(20%混合/m³)
 - ・掘り付けモルタルは、防水材(マノール等)混合の練りモルタル1:3を使用する。(12%混合/m³)
 - ・但し施工上の問題でやむを得ず空練モルタルを使用する場合は防水材仕様を遵守の上、表面にはノロ打ちを必ず施す事とする。
 - ・躯体コンクリート打ち継ぎ部には止水板(B=100)を設置する。
 - ・張り石の内、笠石及び側面石は、R=5、0を超えるものについては直線テーパ合わせとし、これ以下の箇所については躯体寸法を優先し且つ石材の規格厚を満たす範囲で、背面加工を直線またはテーパとして製作する。

意 匠 圖 (2)

[illegible][illegible]

Technical drawing of a rectangular structure, likely a foundation or base, showing dimensions and material specifications. The drawing includes a top view and a side view.

Top View Dimensions:

- Overall width: 2000
- Overall height: 2500
- Inner width: 1500
- Inner height: 1300
- Side wall thickness: 250
- End wall thickness: 250
- Internal width segments: 250, 800, 250
- Internal height segments: 150, 100, 150

Labels and Specifications:

- 側面石張り (Side wall stone cladding)
- 側面石 接グレーバー 仕上 (Side wall stone joint grout finish)
- 550×60×30
- 側面石張り (Side wall stone cladding)
- 側面石 接グレーバー 仕上 (Side wall stone joint grout finish)
- 215×560×30

Side View Dimensions:

- Overall width: 1000
- Overall height: 600
- Internal width segments: 350, 150, 350
- Internal height segments: 100, 150

[illegible][illegible]

Technical drawing of a stone wall cross-section. The drawing shows a wall with a base of 800x1400x150. The wall is constructed with stone (水簀石) and mortar (モルタル 1:3). The wall height is 2226. The wall is topped with a layer of stone (笠石) and mortar (モルタル 1:3). The wall is shown in a cross-section view, with dimensions for the wall thickness, height, and base. Labels include: 水簀石, 御影石 桜グレー, 水簀き仕上, 800x1400x150, 笠石E, 御影石 桜グレー, パーナー仕上, 520x250x30, モルタル 1:3, t=20, 側面石張りB, 御影石 桜グレー, パーナー仕上, 115x260x30, 側面石張りD, 御影石 桜グレー, パーナー仕上, 190x160x30, 洗い出し仕上, t=20, 30, 20, 5, 1015, 1015, 400, 2226, 笠石O, 御影石 桜グレー, パーナー仕上, 250x1110x30, (500), 側面石張りE, 御影石 桜グレー, パーナー仕上, 215x560x30, 段境床石, 御影石 桜グレー, 水簀き仕上, 860x1010x195, モルタル 1:3, t=20, 800, 床石張りC, 御影石 桜グレー, 水簀き仕上, 390x350x30.

※ 共通事項

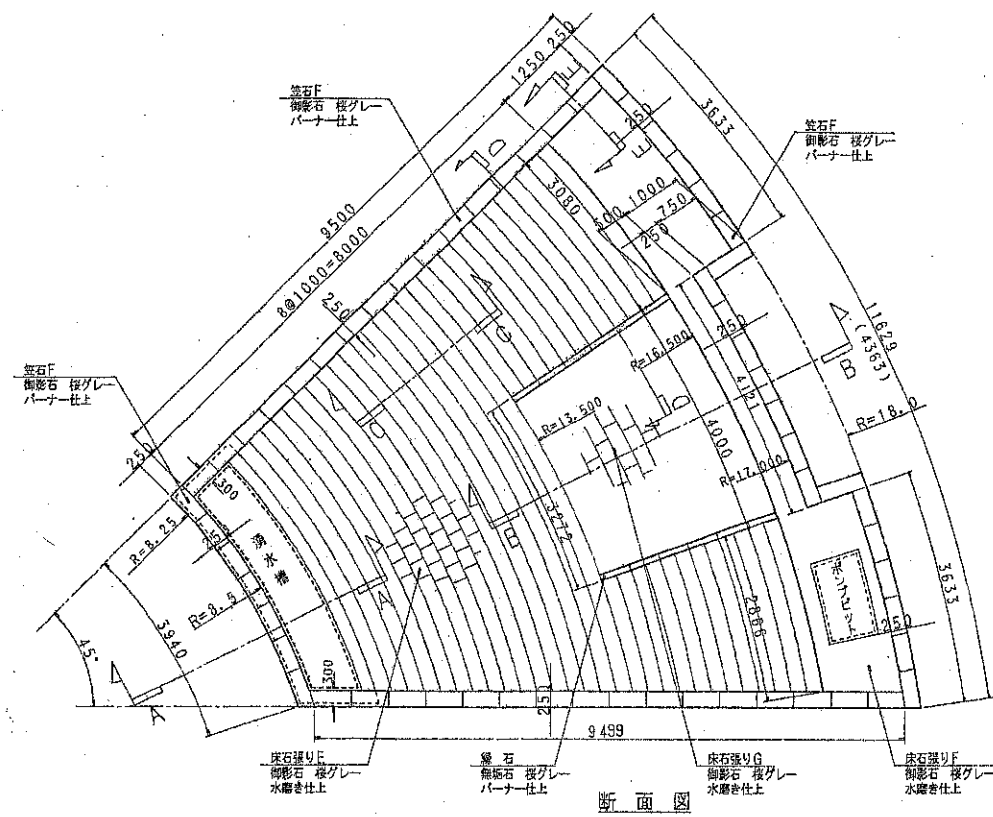
- ・船体コンクリート(2-1~2-5)は、防水材(ベストン同等)混合を使用する。(20%配合/m³)
- ・据え付けモルタルは、防水材(マール等)混合の練りモルタル「3」を調製する。(6%配合/m³)
- ・且つ施工上の問題で必要を得ず空堀モルタルを使用する場合は防水材保護を遵守の上、表面にはノリ打ちを必ず施す事とする。
- ・船体コンクリートを必要箇所には止水板(8=10mm)を設置する。
- ・張り口の巾、窓及び開口部等は、R=5mmの隅丸を用い、かつ左舷側トパーカバーとし、これら開口部については船体構造に適合し且つ石材の特性等を満たす鋼板又は亜鉛加工亜鉛鋼板又はトパーと同一材質にて製作する。

水景施設詳細図(7)

意匠圖(3)

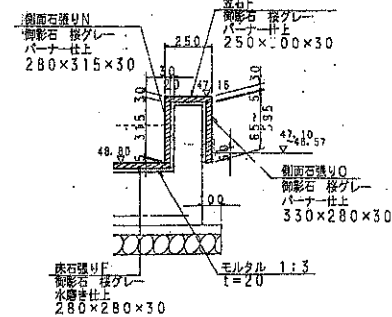
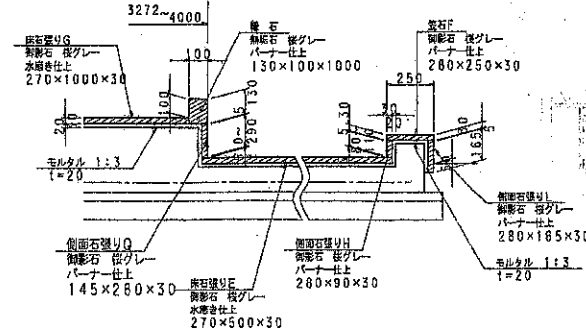
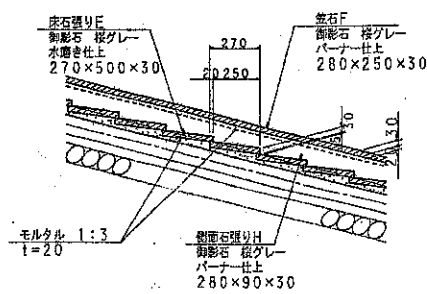
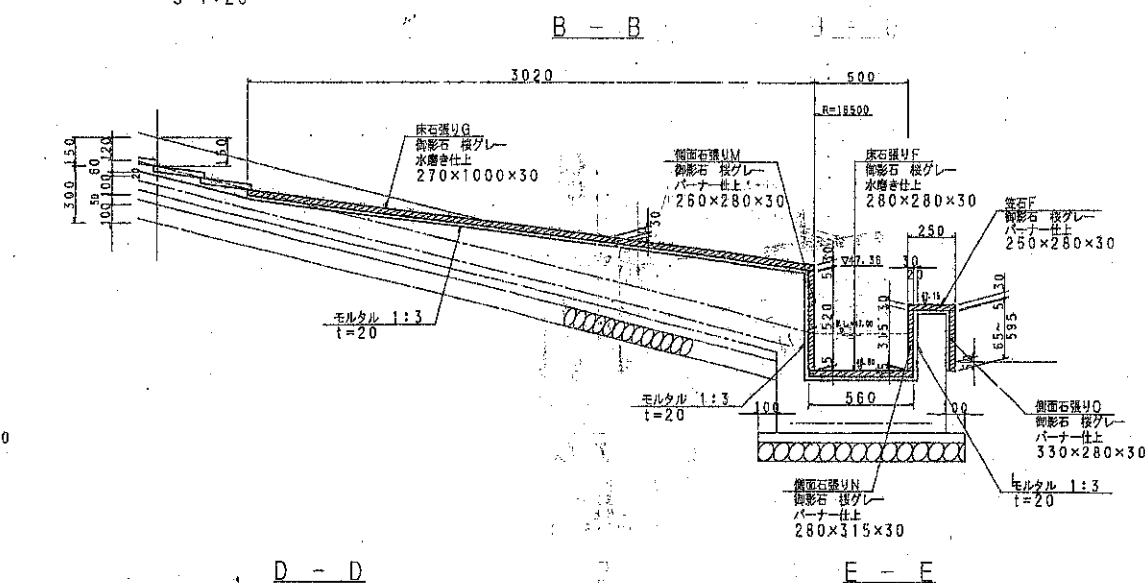
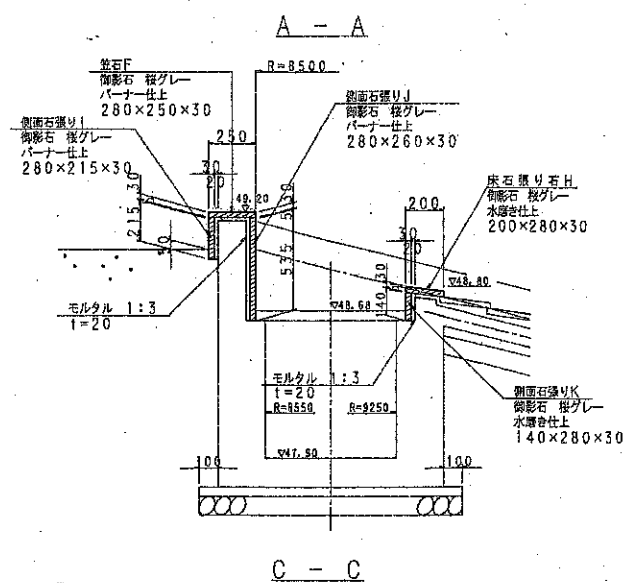
北側下之池

S=1:60



※ 共通事項

① 骨材コングリートを(2-1-8-25)は、防水材(ベトン同等)混合を使用する。(200番ふるい)
② 据え付モルタルは、防水材(マール同等)混合の骨材モルタル(1)を3使用する。
③ 但し施工上の問題で骨材を骨材用コンクリートに適合する場合は骨材材仕様の準拠の上、
④ 骨材には「0」打ちを必ず施す事とする。
⑤ 骨材に「0」打ちは「0」打ちは骨材の最大骨材(8-100)を設置する。
⑥ 埋り石の内、笠石及び側面石は、R-5、0を継ぎ目の内については縦線「チ」を合
わせとし、これ以下の箇所については縦線「チ」を必ず出す。且つ石材の規格厚を満たす範
囲で、背面加工を縦線「チ」で仕上げとする。



水原所貯留土数量集計表				(単位m ³)
名称	規格・指	単位	数量	備考
灰土 A	1,174×300×厚145	m	3.9	
" B	200×厚145	"	3.9	
" C	350×厚145×30	"	11.6	
" D	220×300×厚30	"	30.5	
" E	620×250×厚30	"	4.0	
" F	250×250×厚30	"	72.4	
床版 A	900×400×厚30	m ²	5.0	
" B	700×厚145	"	4.3	
" B	600×1,350×厚105	個	7	
" C	900×250×厚30	m ²	1.0	
" D		"	-	
" E	270×600×厚30	"	81.2	
" F	280×240×厚30	"	17.3	
" G	270×1,000×厚30	"	20.6	
" H	200×250×厚30	"	1.7	
側面石 A	230×350×厚30	"	6.1	
" B	110×250×厚30	"	3.5	
" C	500×厚145	"	0.8	
" C	160~400×厚20	"	1.4	
" D	130×610×厚30	"	0.5	
" E	215×550×厚30	"	0.4	
" F	515~110×220×厚30	"	1.5	
" G	550×厚30	"	0.3	
" H	250×300×厚30	"	4.0	
" I	280×215×厚30	"	1.7	
" J	280×220×厚30	"	3.9	
" K	140×220×厚30	"	1.2	
" L	280×厚145×厚30	"	5.7	
" M	280×240×厚30	"	4.2	
" N	280×315×厚30	"	9.3	
" O	380×280×厚30	"	10.5	
" P		"		
" Q	100×250×厚30	"	1.7	
" R	280×250×厚30	"	2.3	
洗出し	t=20 灰	"	3.2	
	t=20 土	"	7.4	
モルタル下地	t=20 灰	"	172.5	
	t=20 土	"	59.0	
花崗モルタル	t=20 花崗	m ³	0.26	
煉瓦敷石	230×200×厚30	個	1	
水盤石	800×1,000×厚160	"	1	
段階石	600×厚1,000×厚105	"	1	
緑 苔	130×100×1,000	m	12.0	
排水止め	100×厚180	"	1 (18)	
排水石	230×200×厚30	Kg	278	(278) 排水石

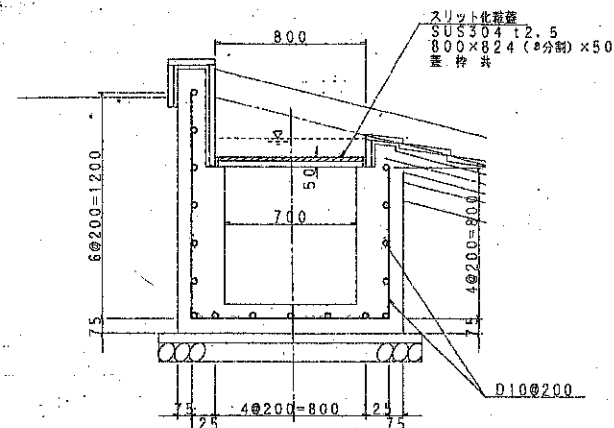
令和8年度
のびのびパーク天啓整備事業
公園施設撤去工事 参考図

配筋図・ピット蓋仕様図

S=1:20

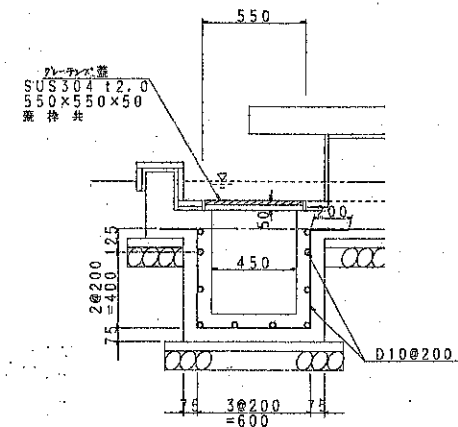
通水槽

北側下之池



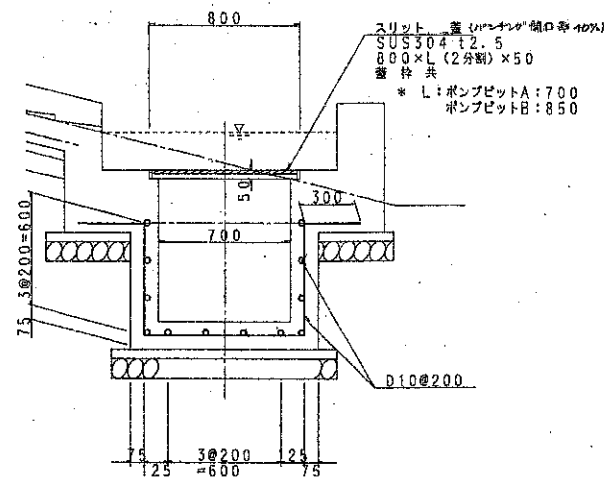
吐水槽

南側下之池



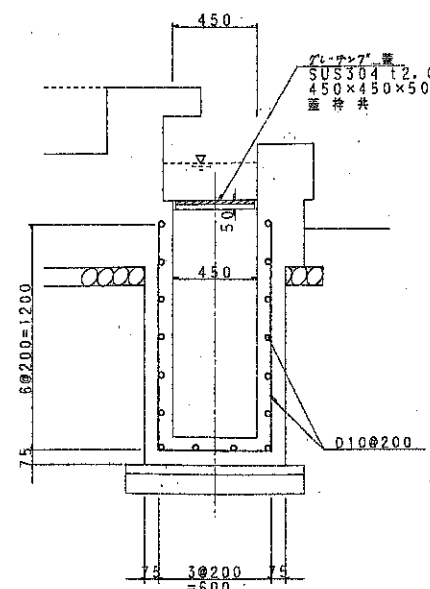
ポンプピット

北側下之池



送水槽

上之池

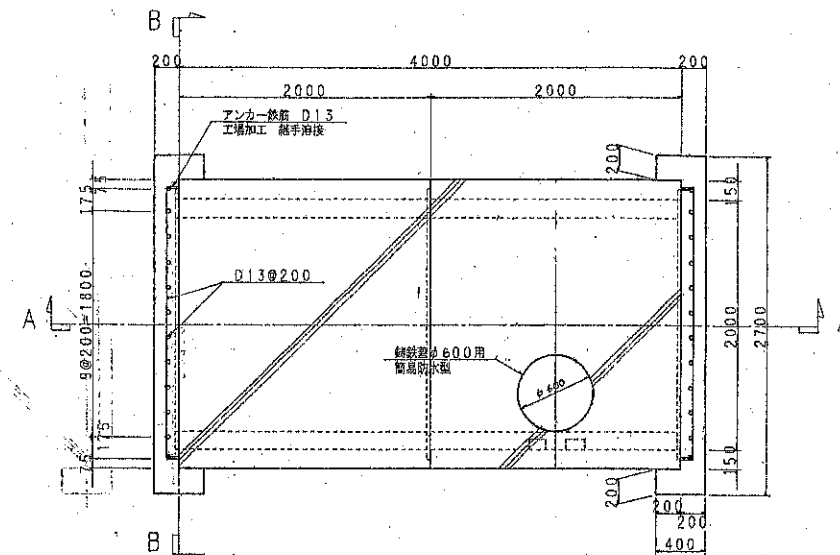


* スリット化杭蓋には、床石張りDとして、石張りを施す。
床石張りDの仕様は、御影石 根グレー 水磨き仕上 t20
耐久性接着剤圧着施工とする。

ろ過機ポンプピット

S=1:30

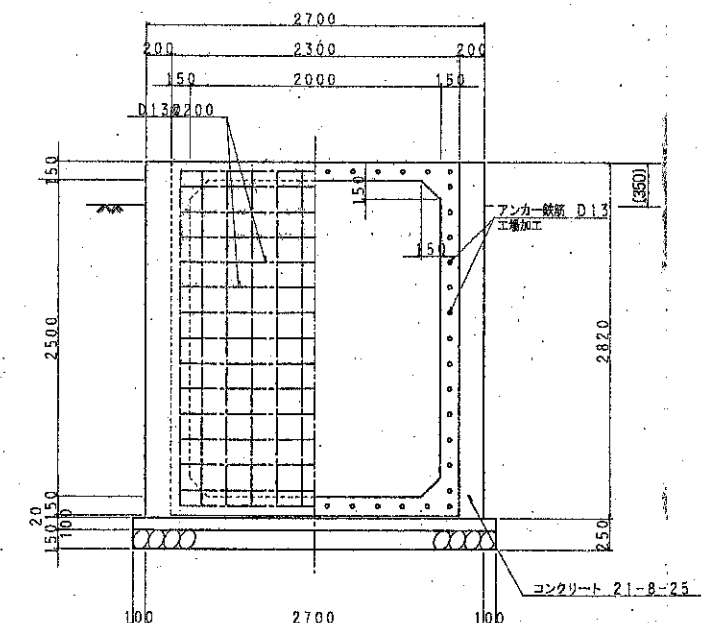
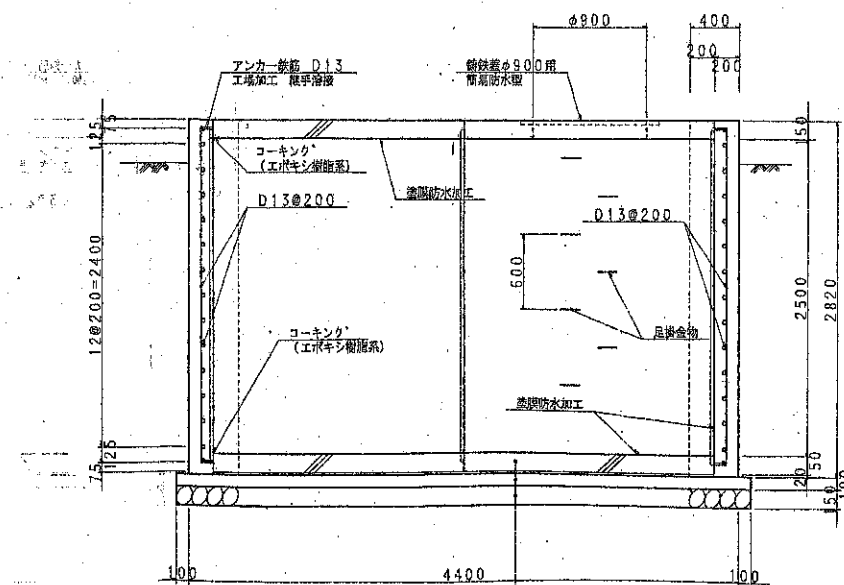
平面図



A-A

B-B

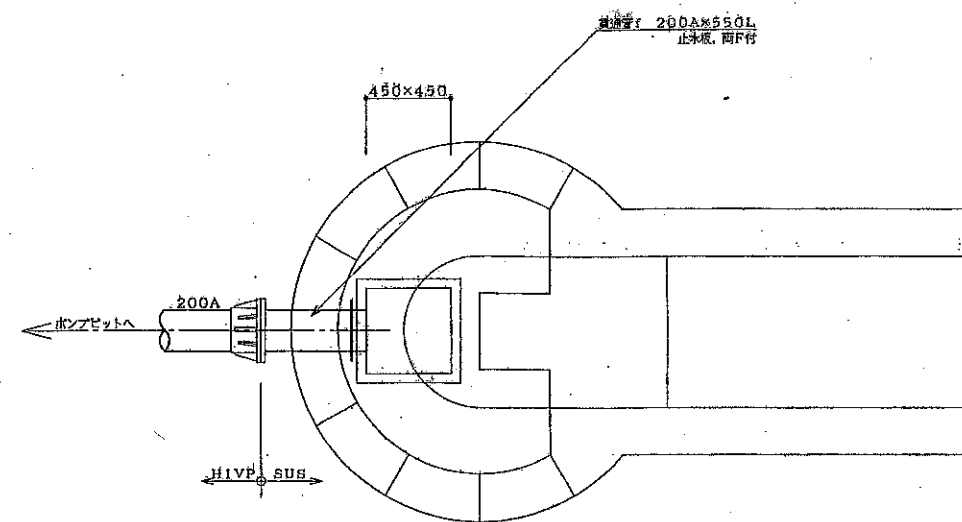
名称	規格	単位	数量	摘要
ボックスカルバート	2000×2500×2000	個	2	足場金物、人孔穴あけ アンカー鉄筋 共
コンクリート	21-8-25	m ³	3.5	
型枠		m ²	32	
鉄筋	D13	kg	137	
均しコンクリート	C-170	m ³	1.5	
均し型枠		m ²	1.5	
モルタル	1:3	m ³	0.2	
基礎材	RC-40, t=150	m ²	13	
塗膜防水		m ²	45	
コーキング	エポキシ樹脂系	m	27	
鋼鉄蓋	ゆがみ耐型防水型	個	1	
床 掘		m ³	92	
運 戻		m ³	59	
残 土		m ³	33	
床ごしらえ		m ²	13	



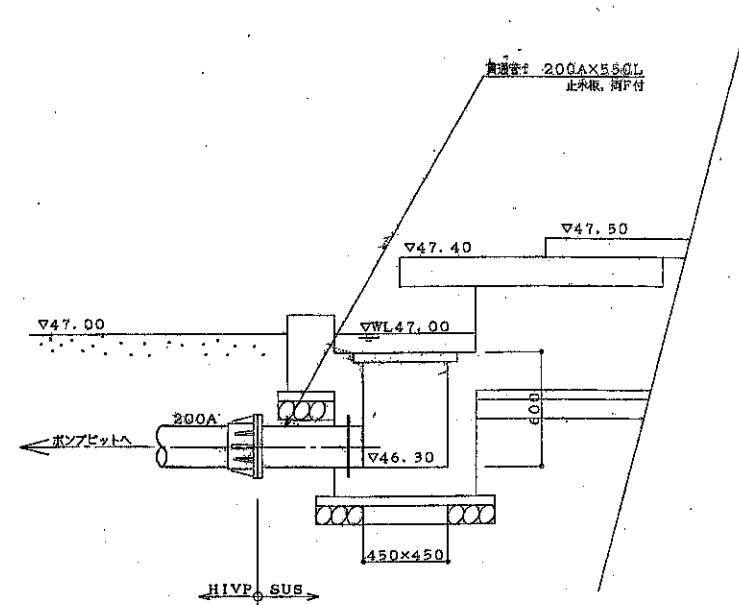
RCボックスカルバート
2000H×2500H×2000L
モルタル 1:3
均しコンクリート C-170
基礎材 RC-40

※図に示すのは基礎構造の断面図であり、
基礎図と断面図の上、床石張りDの仕様

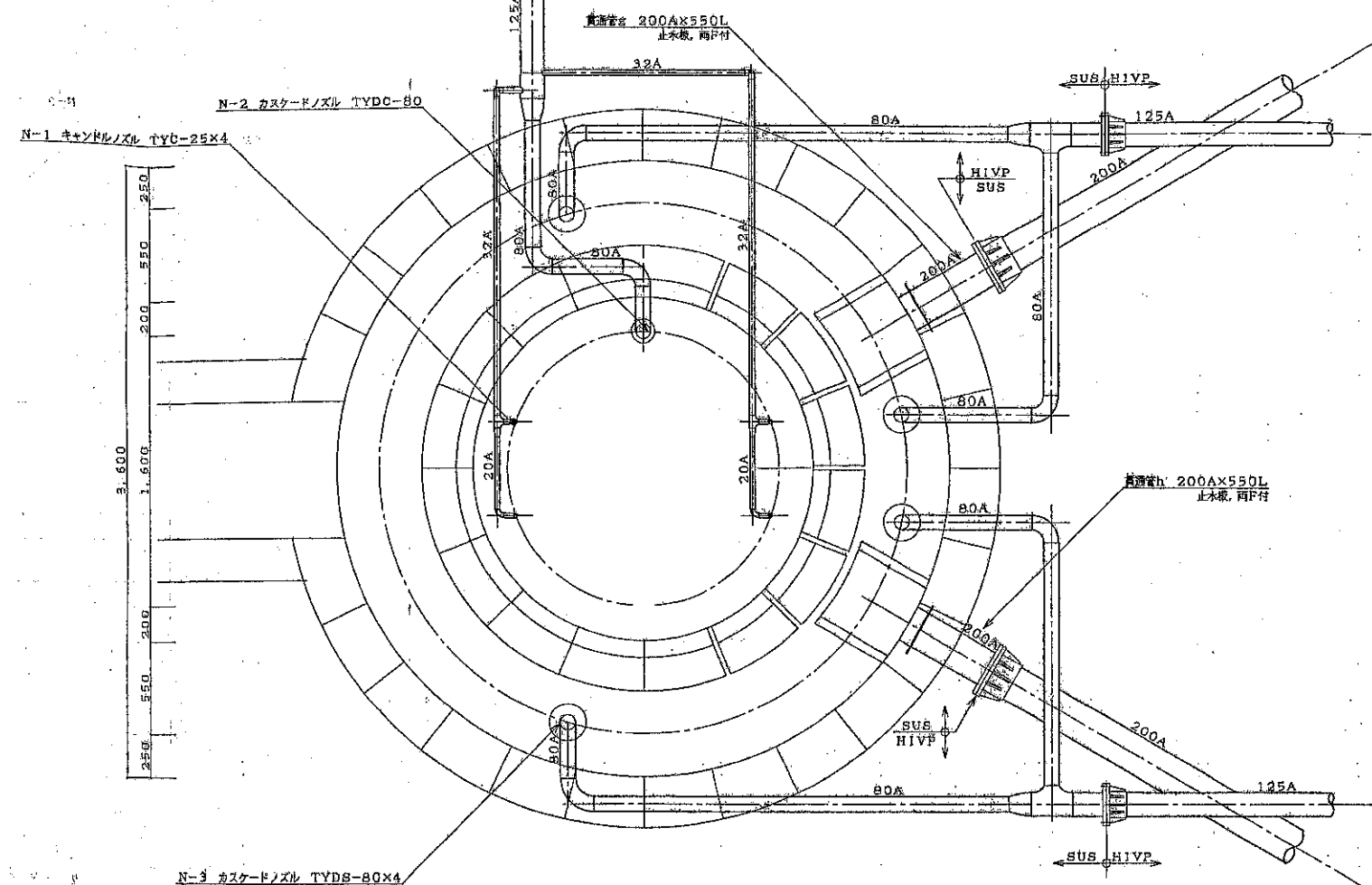
水景施設詳細図(10)



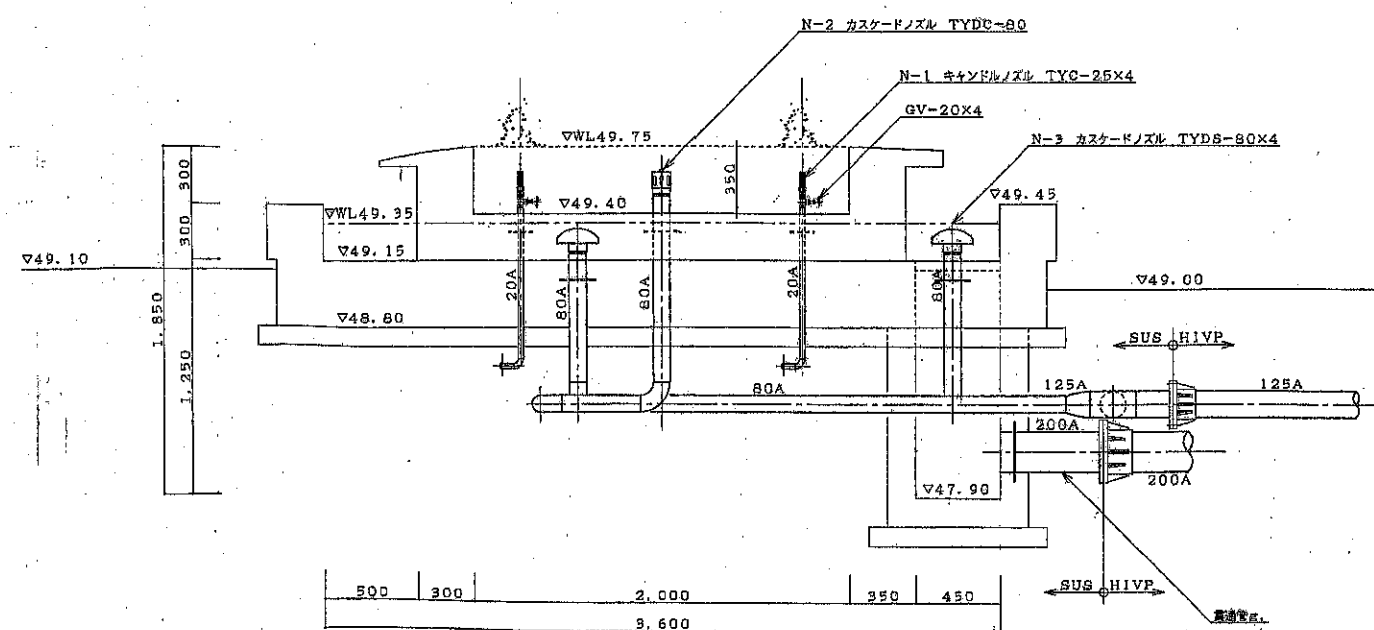
南側下之池平面図 S=1/20



南側下之池断面図 S=1/20

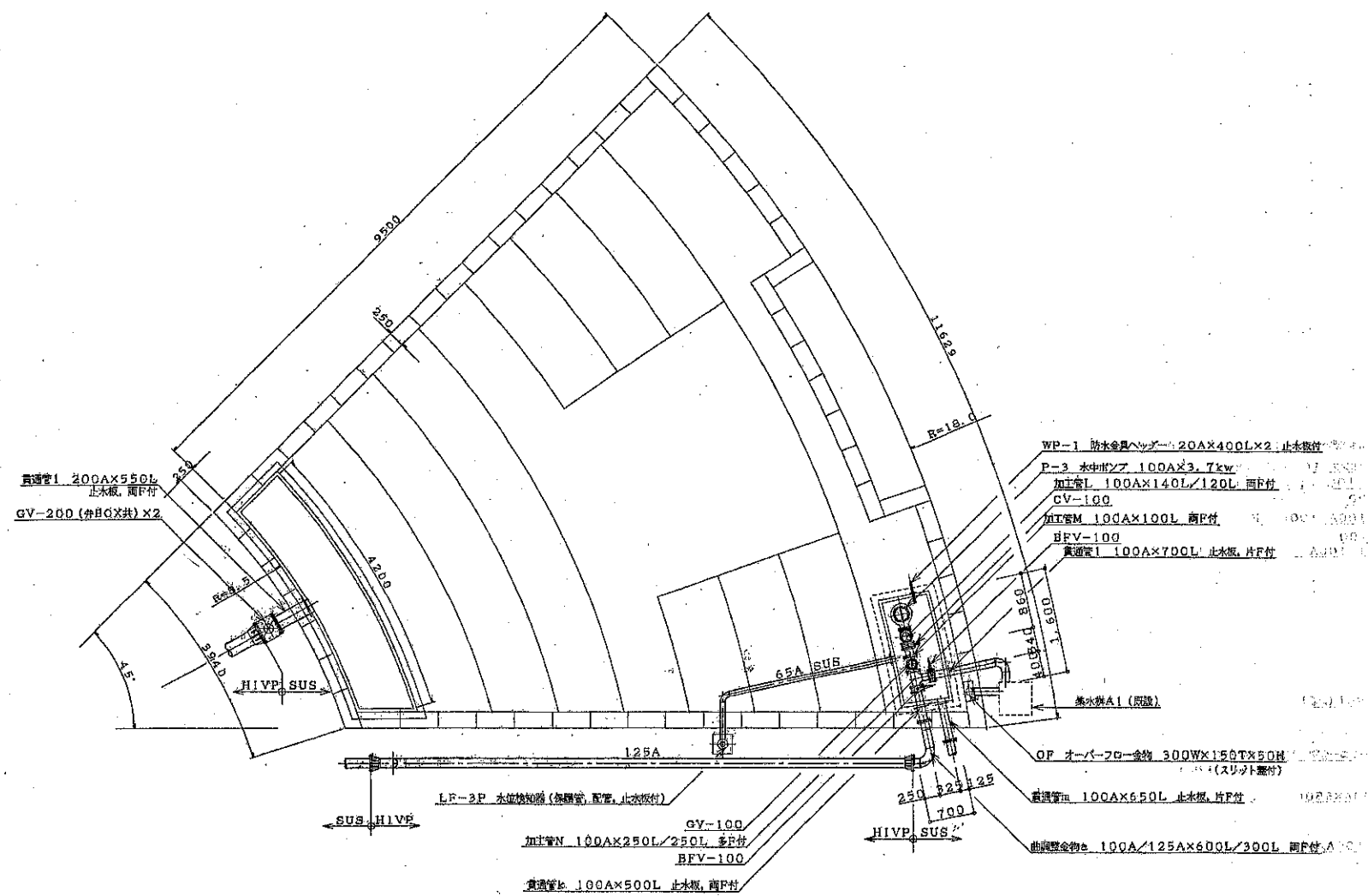


上之池平面図 S=1/20

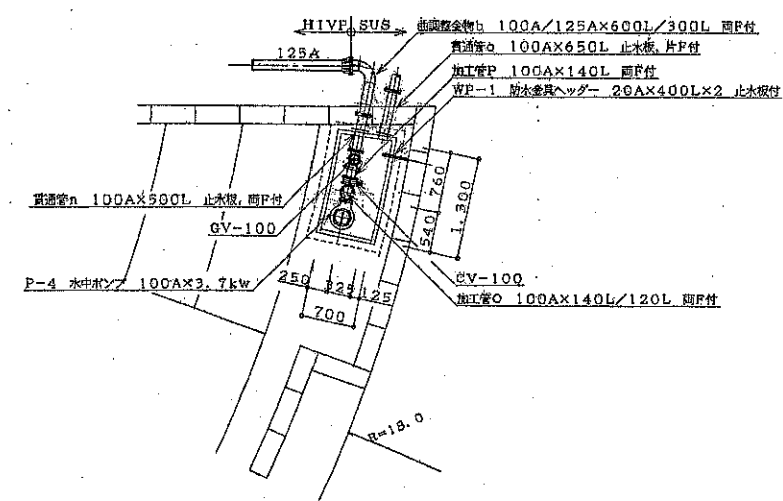


上之池断面図 S=1/20

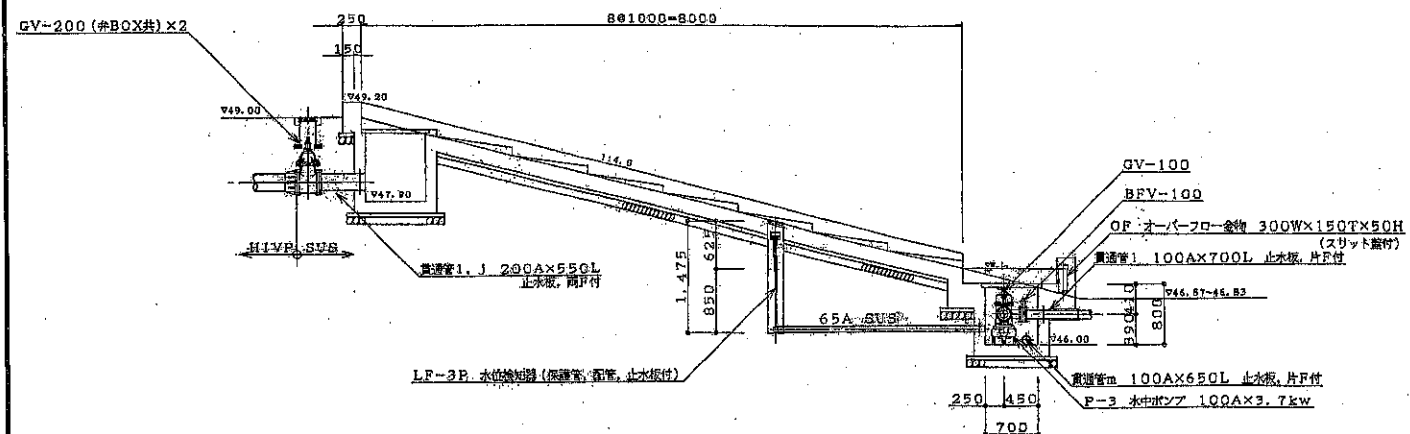
水景施設詳細図(11)



カスケードB平面図 S=1/50

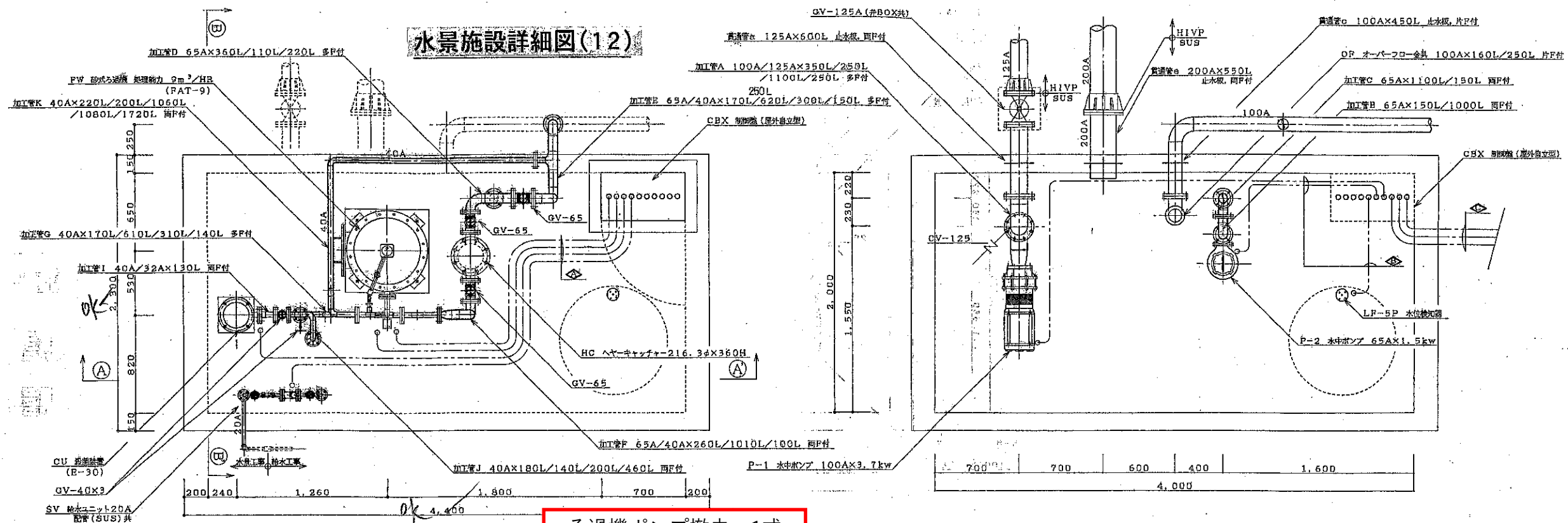


カスケードA平面図 S=1/50



カスケードB断面図 $S=1/50$

水景施設詳細図(12)



CVV	1. 25sq-3c	HIVE 22	F W
CVV	1. 25sq-3c	HIVE 22	
CVV	2sq-3c	HIVE 22	C U
CVV	2sq-2c	HIVE 22	S V

ポンプ付風ケーブル	—	P-1
ポンプ付風ケーブル	—	P-2
CVVS 2sq-5c	HIVE 22	LF-5P

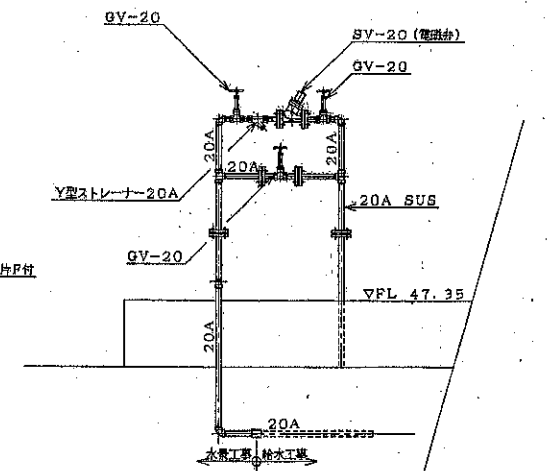
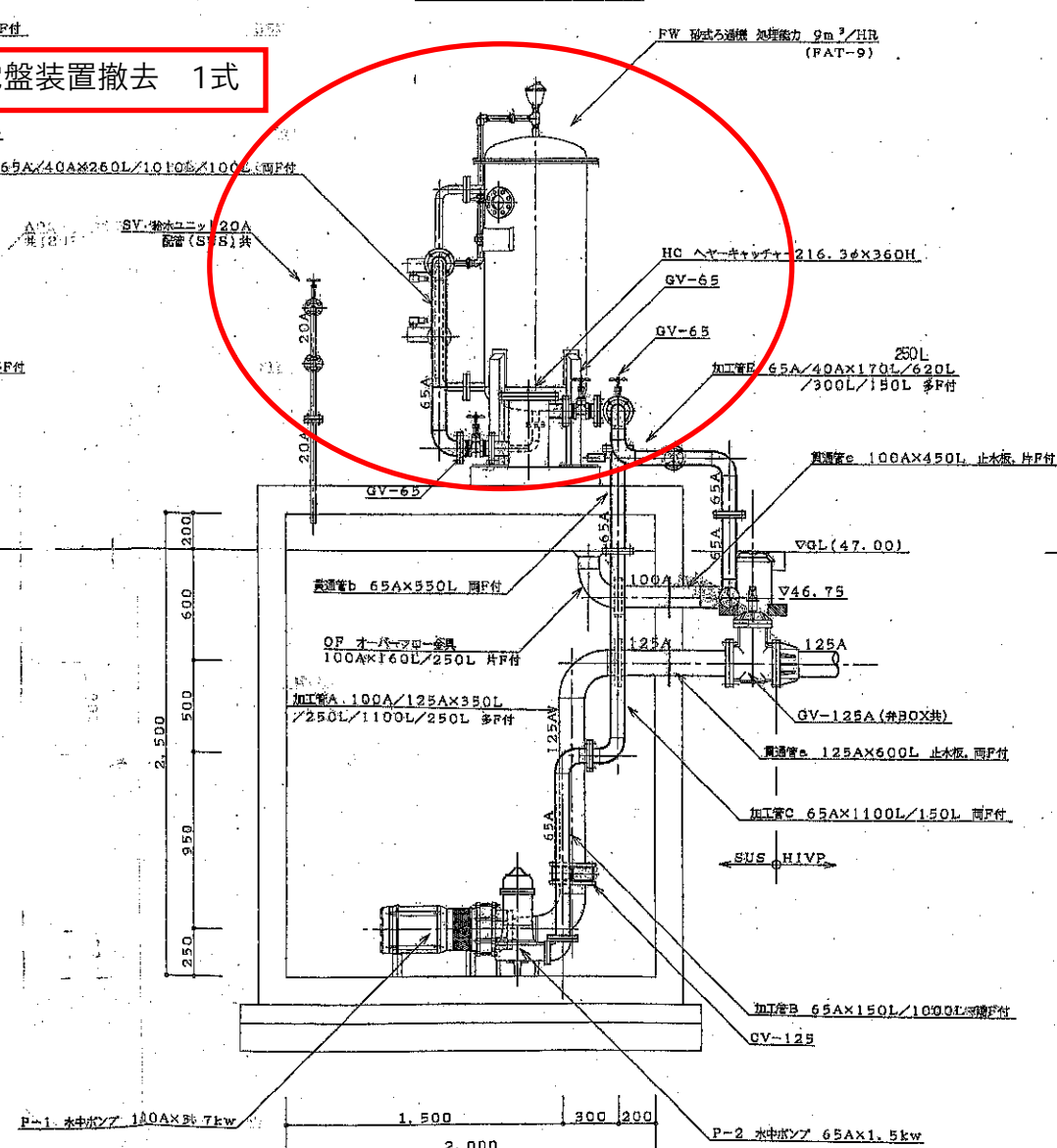
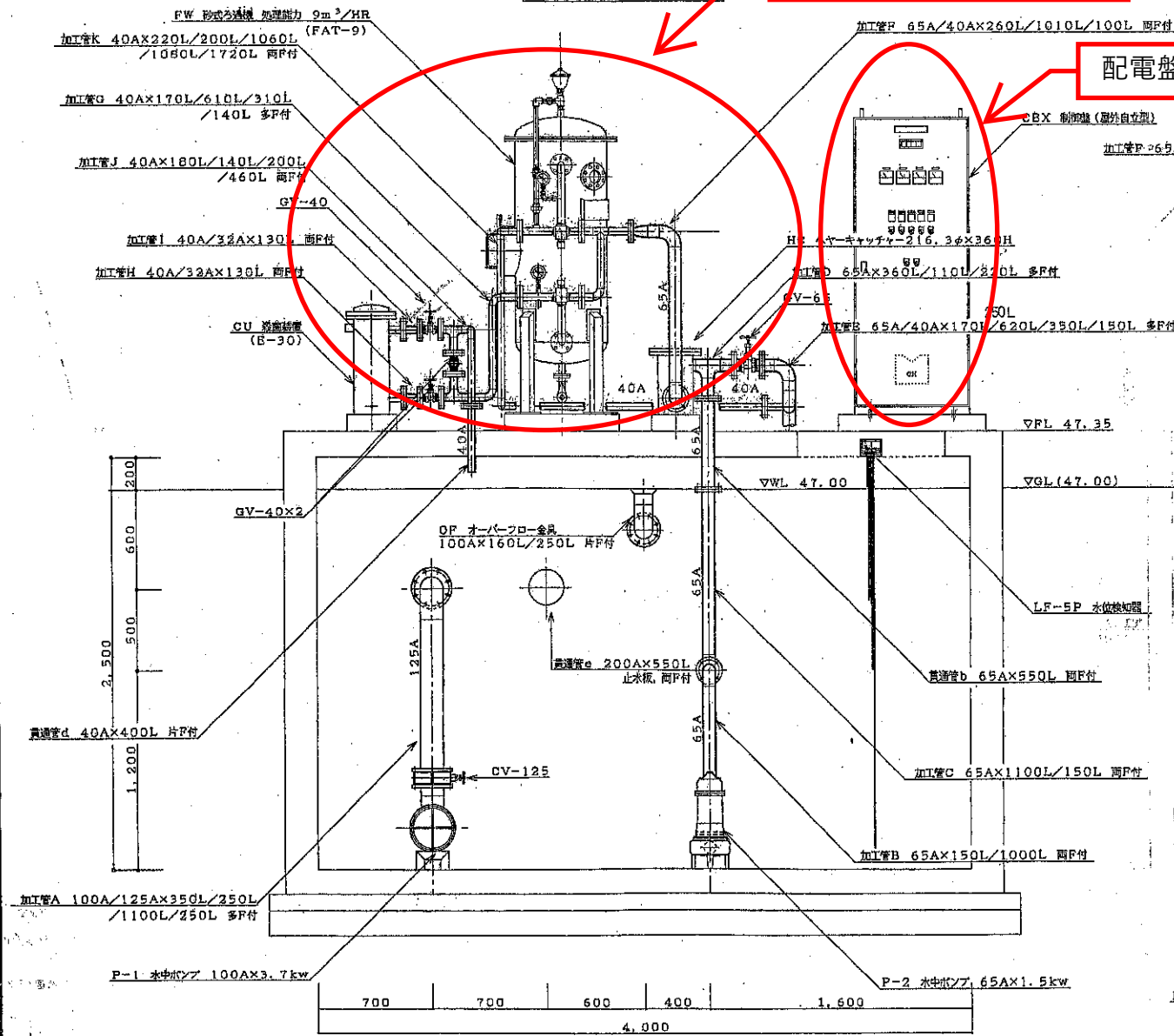
CV	88g-4c	FEP 65	P-3
CV	88g-4c		P-4
CVVS	28g-3c	FEP 30	LF-3P

ろ過機ポンプ撤去 1式

平面图 S=1/20

底面図 $S=1/20$

配電盤裝置撤去 1式



給水ユニット詳細図

※G₁については取設構造物の高さを配慮し、
監督員と協議の上、決定するものとする。

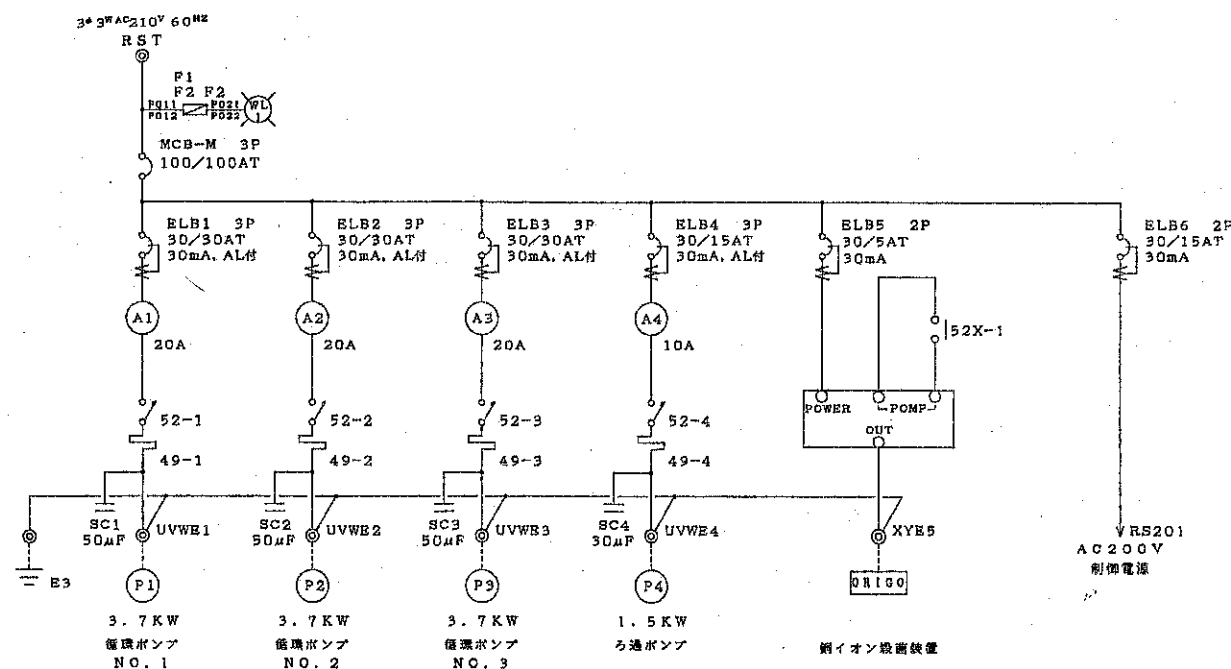
令和8年度
のびのびパーク天啓整備事業
公園施設撤去工事 参考図

①—① 断面图 S=1/20

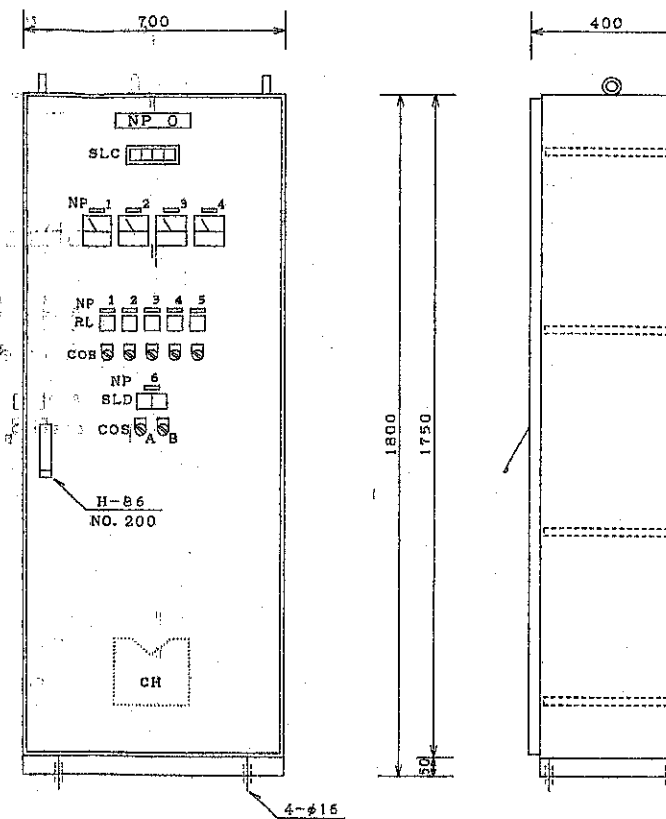
ⓑ-ⓑ 断面图 S=1/20

水景施設詳細図(13)

No Scale



単線結線図



制御盤姿図

銘板名称

記号	名称
NP 0	噴水制御盤
1	循環ポンプNO. 1
2	循環ポンプNO. 2
3	循環ポンプNO. 3
4	ろ過ポンプ
5	給水電磁弁
6	ろ過3方弁
COS 1~4	試験-断-自動
COS 5	断-開-自動
COS B	ろ過-断-逆洗

SLC1

電源	過負荷	漏電	漏水 (A)	漏水 (B)

RL1~4

運転	開

SLD6

ろ過	逆洗

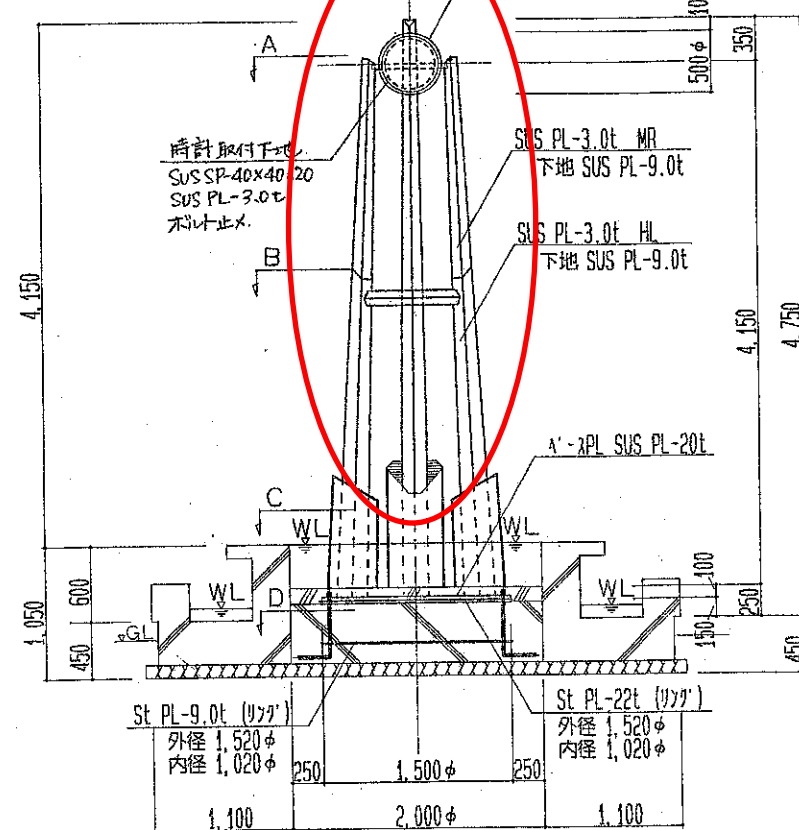
動作

- 噴水用ポンプ・ろ過用ポンプは24時間タイムスイッチにて、運転-停止する。
但し、ろ過ポンプは、砂ろ過機(ろ過工程時)に連動運転とする。
砂ろ過機逆洗工程は24時間タイムスイッチ・タイマにて、運転-停止する。
- 水位検知センサー(5P, 3P電極)により水位を検知し、満水レベルにてポンプを停止する。
又、給水レベルにて給水電磁弁が開となり自動給水する。

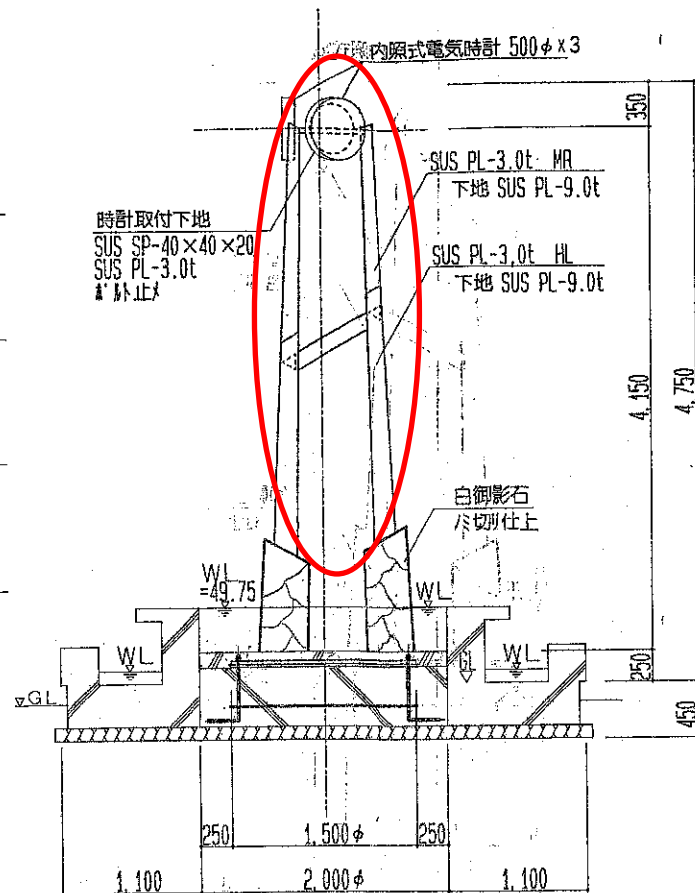
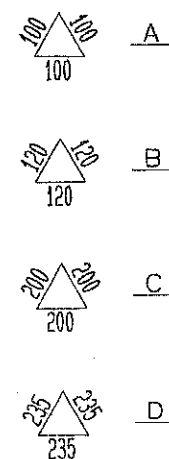
時計台撤去 1式

時計台詳細図

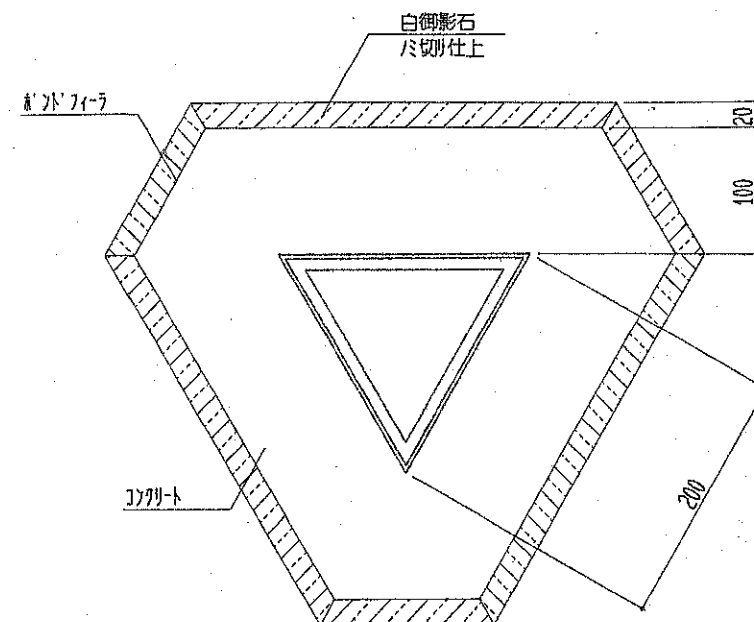
S=原 示



立面図 S=1/30

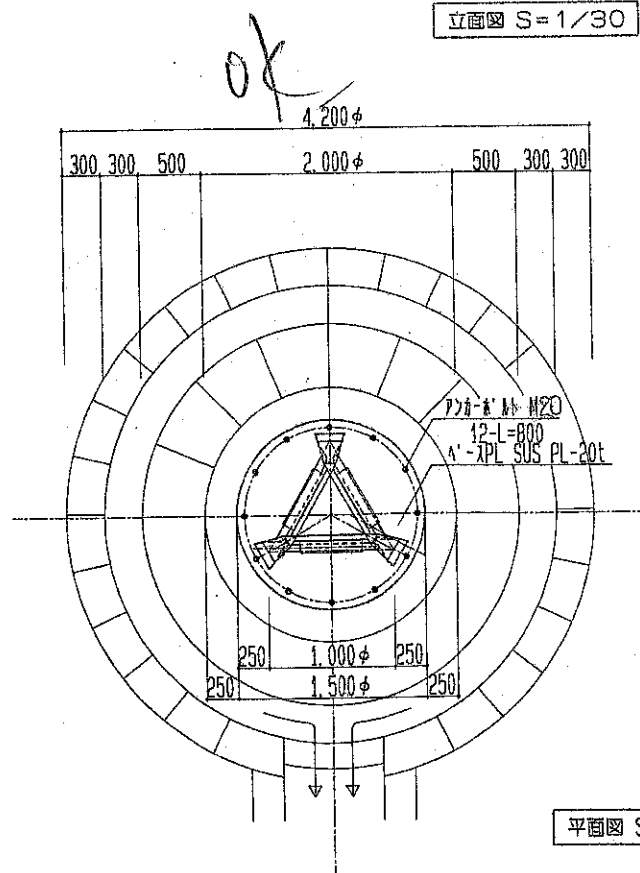


側面図 S=1/30

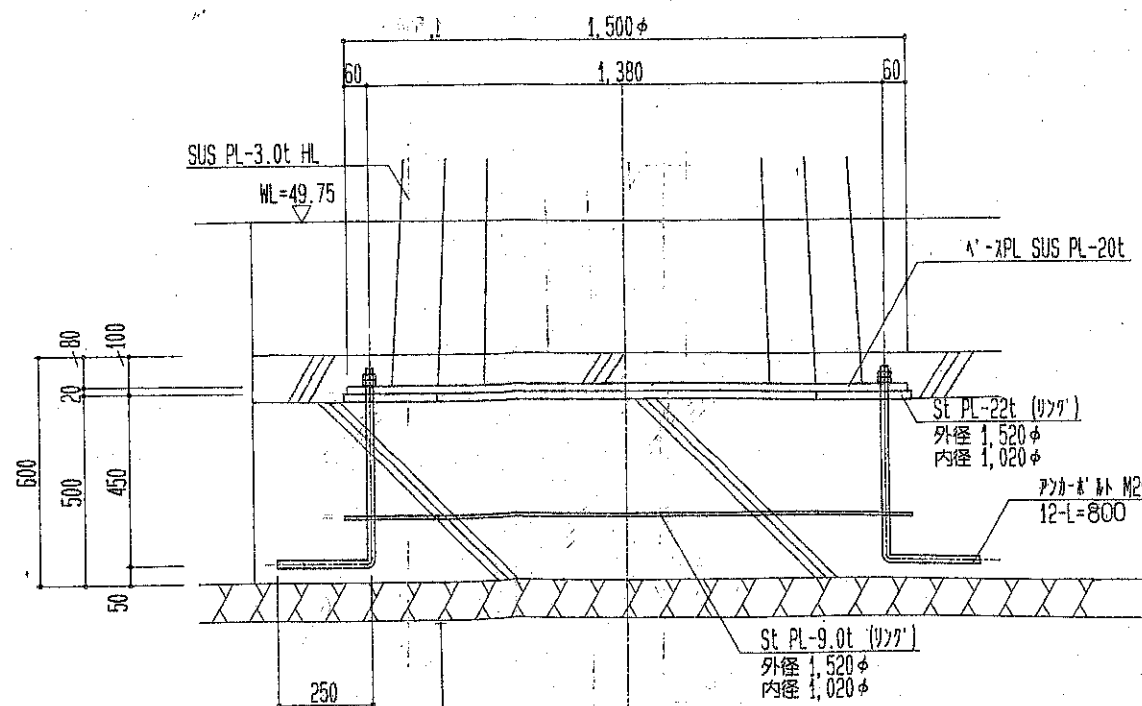


石取り合断面図 S=1/3

時計台数量集計表 (1基当り)				
名称	規格	単位	数量	摘要
時計台		基	1	アンカーボルト、ベース等 1基を含む



平面図 S=1/30



A'-A部立面詳細図 S=1/10

以降配線は電気工にて計上
(内装式電気時計より基礎底面までの)
配線は時計台本体工事を含む。